

不登校の原因を考える ②

子どもの性格や親の育て方に不登校の「原因さがし」をすれば、何か見つかった気になるものです

■一人っ子が原因で不登校？

星の会ができてしばらくした時、おかしなことに気づきました。

当時は、不登校の相談をする所はあまりありませんでした。教育相談員という肩書きの方に相談していたと思います。教育支援センター（当時は適応指導教室）の支援員にも、元教員の方がなっていました。スクールカウンセラーは少なく、配置していても臨床心理士の方はとても少なかったと思います。

例会で、Aさんが言います。「この前、不登校の相談に行ったら、一人っ子が不登校の原因って言われました。「どういうこと？」とたずねると、「やっとできた一人っ子だから、甘やかしすぎたのが原因で不登校になったと言われました。やっぱり、私が甘やかして育てたからなんですか。」とAさん。

隣にいたBさんは「私は子どもが4人いたからって言われたよ。」と言います。

ある相談機関に行くと、元校長先生の相談員の方がいて、これまでの状況を詳しく聞かれたそうです。その方はメモを見ながら、「兄弟が4人いて、愛情を充分にかけることができなかったからでしょう。これからは、スキンシップをして下さい」と言ったそうです。

2人兄弟か3人兄弟なら良いのか…？そういう問題ではありません。

■探せばいくらでも出てくる原因

最近では、さすがに兄弟の人数を原因にする方はいませんが、その他にも…

・「離婚をされたことが関係あるかもしれません。お母さんのために、この子は頑張っ

張って頑張らぬいて疲れ切った。不登校はこの子のサインです。これからは愛情をたっぷりかけて下さいね。」

・「幼い頃に、お父さんとお母さんの仲が悪い時期が続きましたね。そのため、情緒的に未成熟になっていると考えられます。」
・「お母さんから離れることができないのは、母子分離不安が疑われます。小さい頃に過干渉だったのではないですか。お母さんの顔色を見ながら過ごしていますよ。このままだと、ずっと不登校が続くかもしれません。スモールステップを踏んで、徐々に親子の距離をとれるようにしていきましょう。」

・「お父さんが仕事人間で、家庭にお父さんの存在感がないため、この子には父性が育っていません。これからでも遅くないので、お父さんがもっと家庭を顧みるようにして下さい。」

・（不登校の状態の子どもがおどおどしたり、人の目を避ける姿を見て）「子どもさんには自己肯定感が育っていません。これまであまりほめることをしなかったのではありませんか。これからは、子どもをほめて・認めて、自己肯定感を育てないで…」

・「昼夜逆転の生活をしているのが問題です。学校に行かなくても、生活リズムを整えるのは必要です。朝は起こして、一緒にご飯を食べて下さい。そうしないと、学校に行く気持ちになっても、起きることができず不登校が続きます。」

そもそも、どの家庭でも子育てをしていると、子どもを傷つけたり追い詰めたりすることはあると思います。また、夫婦で言

おねがい

原稿をお寄せ下さい

●感想・体験 ●伝えたい情報

●その他不登校に関すること

<メール>toiawase@hoshinokai.net

<FAX> 097-576-9489

原稿は、FAXかメールでお寄せ下さい。掲載の際に匿名・イニシャルなど希望する場合は、そのことを書き添えて下さい。

い争いになったり、離婚をしたりすることも…。子どもの育ちに問題を見つけようと思えば、何か必ず見つかります。一人ひとりの生命は個性なのですから…。「それが原因です」と専門家？から指摘されると、「そうかもしれない。」と親は思ってしまう。

また、人の目が気になったり、昼夜逆転の生活などは、「不登校あるあるの話」です。子どもの立場に自分をおいて考えれば、そうした行動が「問題」ではなく、ある意味「健全」な行動であることがわかります。

■「原因さがし」の土台にあるもの

不登校の原因さがしをして、子どもの性格・親の育て方に偏る人には「不登校はなおさなくてはいけない。」「不登校は克服する問題」等の考え方が土台にあると思います。

「なおす問題」「克服する問題」なのですからその原因を探するため、今の目の前の子どもの状態や親の育て方から何か問題点を見つけようとしてみます。

勿論、親が日々の子育てを見つめ、反省をすることは必要なことです。「子どものため」と思ってしまったことが、子どもを追い詰めることにしかなかったことに気づくのは、子育ての在り方を修正するために良いことです。これまでの子育てを見つめることは、子どもが不登校であろうがなかろうが行うべきでしょう。「親が変われば学校復帰する」というものではありません。

ちなみに、私の経験から言えることは、こうした「原因？」と考えられることを解決しなくても、子どもは学校に行く時は行くようになります。子どもの生命の力がどうにかします。

10月の例会予定

○昼の大分例会…10月6日(土)13:00~16:30

○別府例会…10月6日(土)19:00~21:00

○豊後大野例会…10月11日(木)19:00~21:30

○津久見例会…10月12日(金)19:30~22:00

○夜の大分例会…10月19日(金)19:00~21:30

○湯布院例会…10月25日(木)19:30~21:30

会報発送のボランティアを募集しています。協力していただける方は河野さんまで連絡をください。

星の会のイベント

来月以降にチラシが会報と一緒に郵送されます。不登校フォーラム意外は会員は無料です。

不登校の子どものための高校進学相談会

○日時 10月28日(日)13:00~16:30

○場所 コンパルホール
男女共同参画センター会議室(2階)

○内容 <第1部>高校進学の理解と情報
<第2部>経験者に聞く高校進学

不登校を考える講演会

(別府星の会101回記念例会)

○日時 11月18日(日)13:00~16:00

○場所 別府市内
○内容 講演と当事者に聞く不登校Q&A

不登校を考える講演会

(津久見星の会251回記念例会)

○日時 11月25日(日)14:00~17:00

○場所 津久見市民会館
○内容 講演と不登校Q&A
*講演会の後、懇親会を計画中

第7回不登校フォーラム

○日時 12月16日(日)12:40~16:30

○場所 Jcomホルトホール大分 大会議室
○内容 <講演1>加嶋文哉氏

<演題>不登校と社会的自立
~生命(いのち)の力が輝く時~

<講演2>前川喜平氏

<演題>憲法26条と教育機会確保法
<参加費> 一人1,000円(会員も有料です)

*チケットがほしい方は、各地区の代表世話人に連絡をとるか例会で購入できます。

会報発送作業

■日時: 9月27日(木)14:00~

■場所: 明治明野公民館和室2

■お尋ねは河野さん
(080-5272-9360)まで